

LESSON TRANSCRIPT

Video Culture Class: Japanese Holidays #4 National Foundation Day

4

2月11日は、「建国記念の日」です。「建国をしのび、国を愛する心を養う」ための祝日です。日本の初代天皇が即位した日を「日本の歴史が始まった日」としてお祝いするようになりました。この祝賀行事は明治時代から始まり、「紀元節」と呼ばれています。建国記念の日のルーツとなった行事です。

日本の初代天皇とは誰でしょうか。

正解はこのビデオの最後に紹介します。

世界の国々の多くは、独立した日を建国記念日に制定していますが、日本は違います。昔、日本を統治していたのは天皇でした。代々の天皇をたどっていくと、なんと紀元前の神話の世界にまでさかのぼることができます。神に導かれて領土を拡大し、即位した初代天皇の存在を、古来から日本人は敬意を持って語り継いできたのです。だからこそ、日本の歴史の始まりを初代天皇の即位した日と位置づけ、お祝いするようになったのです。

各地で国のあり方や政治に関する講演会、シンポジウム、集会などが開かれます。天皇制に関しては賛否両論あり、近年では「女系天皇制」についての意見も分かれています。「建国記念の日」は、国のあり方について、有識者の見解を聞いたり、自分の考えを深めたりする機会となっています。

明治天皇をまつている明治神宮を初め、「建国祭」「紀元祭」などの祭りを行なう神社があります。神輿（みこし）を引いて練り歩いたり、鼓笛隊が華々しくパレードを行なったりと、祭りの様子は様々ですが、古来から何千年という長い間、日本の発展に尽力した多くの先祖に思いを馳せ、これからの日本がますます繁栄するように願います。日本ならではの年代の数え方があることを知っていますか。それは、「皇紀」といい、神武天皇即位の年を元年として数えます。ちなみに、西暦紀元前660年が皇紀元年です。

さて、ここでクイズの答えです。

正解は「神武天皇」です。神武天皇の即位は、『日本書紀』によると、紀元前660年の旧暦元日、新暦の2月11日とされています。『日本書紀』は八世紀初めに編纂（へんさん）された書物で、現在の日本に残された中では最も古い歴史書。神武天皇は、生まれながらにして聡明で、強い意志の持ち主であったと記されています。